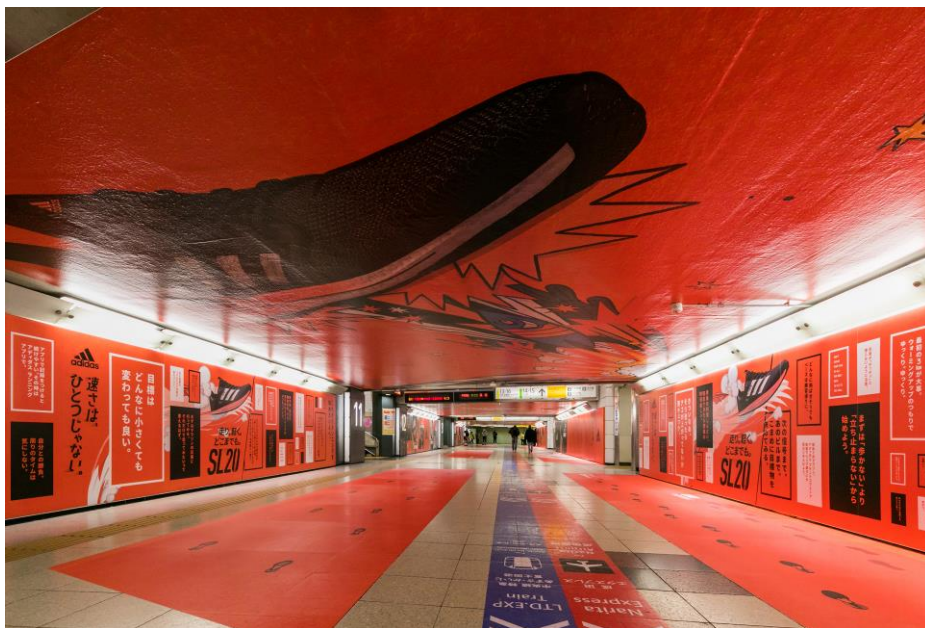


2020年12月11日

「交通広告グランプリ 2020」各賞が決定！ グランプリはアディダス ジャパン株式会社 『速さは、ひとつじゃない。』



「交通広告グランプリ 2020」（主催：(株)ジェイアール東日本企画、協賛：東日本旅客鉄道(株)、JR 東日本メディア(株)、後援：(公社)日本鉄道広告協会）の受賞作品が決まりました。

最高賞であるグランプリは、アディダス ジャパン株式会社「速さは、ひとつじゃない。」が受賞いたしました。

各部門の最優秀部門賞につきましては、

- ・車両デジタルメディア部門はサントリーコミュニケーションズ株式会社の「BOSS/いつも通り、働く。」
- ・駅デジタルメディア部門は大日本印刷株式会社の「クラウドスタート」
- ・車両メディア部門は公益財団法人東日本鉄道文化財団 東京ステーションギャラリーの「メスキータ」
- ・駅メディア部門は柏崎市の「アツいのは東京だけじゃない」
- ・駅サインボード部門は株式会社そごう・西武の「わたしは、私。2020 ～さ、ひっくり返そう～」
- ・企画・プロモーション部門は大正製薬株式会社の「リポビタンD『ラグビーW杯日本大会』中ぶり広告」
- ・JR 東日本賞は株式会社スシローグローバルホールディングスの「山手線全駅出店プロジェクト」

が受賞いたしました。

【受賞作品数】 計38点

※グランプリ1点、各部門より最優秀部門賞1点、優秀作品賞5点および、JR 東日本賞1点の計38作品を選出します。

部門	最優秀部門賞	優秀作品賞	対象ユニット
車両デジタルメディア部門	1	5	トレインチャンネル、まど上チャンネル 等
駅デジタルメディア部門	1	5	J・AD ビジョン、大型ビジョン、NewDays ビジョン 等
車両メディア部門	1	5	中ぶり、まど上、ドア横新B、ステッカー 等のポスター類
駅メディア部門	1	5	駅ポスター、SP メディア
駅サインボード部門	1	5	駅サインボード
企画・プロモーション部門	1	5	他メディアと連携した交通広告展開、交通広告の特性を活かした展開

【審査作品数】 計1,527点

交通広告グランプリ2020受賞作品リスト

部門	賞	作品名	広告主名
グランプリ		速さは、ひとつじゃない。	アディダス ジャパン株式会社
車両デジタルメディア部門	最優秀部門賞	BOSS/いつも通り、働く。	サントリーコミュニケーションズ株式会社
	優秀作品賞	キュービーハーフ「だから、キレイなんだ。」篇	キュービー株式会社
		JUN&ROPE' MENS DEBUT	株式会社ジュン
		美しく走る Be a driver.	マツダ株式会社
		三菱電機 鉄道4コマ劇場「切り替えが早い」空調篇	三菱電機株式会社
	QUOカードPay1億円分が1名様に当たる！	株式会社クオカード	
駅デジタルメディア部門	最優秀部門賞	クラウチングスタート	大日本印刷株式会社
	優秀作品賞	ONE FRISK ONE STEP	クラシエフーズ株式会社
		「読み方」を変えよう。	Dow Jones&Company, Inc.
		今のワタシと未来のワタシ	株式会社早稲田アカデミー
		CORUM Admiral brandsignage	株式会社ジーエムインターナショナル
	2019/2020 READY-TO-WHERE COLLECTION	デルタ航空会社	
車両メディア部門	最優秀部門賞	メスキータ	公益財団法人東日本鉄道文化財団 東京ステーションギャラリー
	優秀作品賞	Café de BOSS/世界でいちばん小さなカフェ？開店。	サントリーコミュニケーションズ株式会社
		「ワールドカップバレーボール2019」ネット広告	株式会社フジテレビジョン
		「My Way」篇	大塚製薬株式会社
		「さあ、カムイを感じる大地へ。」	公益財団法人アイヌ民族文化財団
	マスターズ2019	株式会社TBSテレビ	
駅メディア部門	最優秀部門賞	アツいのは東京だけじゃない	柏崎市
	優秀作品賞	TOKYO LIGHT UP	パナソニック株式会社
		20200101(ニワニワワイワイ)	株式会社ワナーミュージック・ジャパン
		マッチ～魔法の着火具・モダンなラベル～展	たばこと塩の博物館
		ワフードメイド「肌に美味しい、スキンケア。」	株式会社 p d c
	「日本博 JAPAN CULTURAL EXPO」	文化庁 / 独立行政法人 日本芸術文化振興会	
駅サインボード部門	最優秀部門賞	わたしは、私。2020 ～さ、ひっくり返そう～	株式会社そごう・西武
	優秀作品賞	SUMMER OF JAPAN	株式会社ラフォーレ原宿
		5Gってドラえもん？	ソフトバンク株式会社
		Color Shining	株式会社スターフライヤー
		GIRLS POWER	株式会社ミルボン
	ARUHI presents 本当に住みやすい街大賞 2020	アルヒ株式会社	
企画・プロモーション部門	最優秀部門賞	リボビタンD「ラグビー-W杯日本大会」中づくり広告	大正製薬株式会社
	優秀作品賞	がんばること多すぎ電車ジャック	Netflix株式会社
		2020 New Yearキャンペーン	Twitter Japan株式会社
		●●を理由に夢を諦めてはいけない	株式会社CAMPFIRE
		Aqualbum	オリックス不動産株式会社
	その道は一本。	公益財団法人 全日本柔道連盟	
J R 東日本賞		山手線全駅出店プロジェクト	株式会社スシローグローバルホールディングス

【弊社コーポレートサイトでの受賞作品介绍】

弊社コーポレートサイト内の特設ページにて、受賞作品の紹介および受賞作品発表動画の公開をおこなっております。ぜひご覧ください。※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、贈賞式および受賞作品展示会は中止とさせていただきます。

「交通広告グランプリ2020」特設ページ ⇒ <http://awards.jeki.co.jp/>

お問合せ先

(株)ジェイアール東日本企画 交通媒体本部内「交通広告グランプリ」事務局

担当：北里・長久・本多 TEL：03-5447-7885

◆ 「交通広告グランプリ 2020」概要 ◆

主催 : 株式会社ジェイアール東日本企画
協賛 : 東日本旅客鉄道株式会社、JR 東日本メディア株式会社
後援 : 公益社団法人日本鉄道広告協会

【応募対象】

2019年4月1日から2020年3月31日までに、(株)ジェイアール東日本企画が販売・管理を行っている駅および車両(「JR 東日本」「つくばエクスプレス」「りんかい線」「ゆりかもめ」「JR 貨物」および「しなの鉄道」)に掲出された全ての交通広告作品

【応募部門】

- (1) 車両デジタルメディア部門
- (2) 駅デジタルメディア部門
- (3) 車両メディア部門
- (4) 駅メディア部門
- (5) 駅サインボード部門
- (6) 企画・プロモーション部門

【応募資格】

上記【応募対象】にご出稿いただいた広告主・広告会社・制作会社および制作者の方
(自薦・他薦いずれも可)

【審査日】

2020年8月17日(月)～2020年9月3日(木)

【審査員】

審査員長	仲畑 貴志	様	コピーライター、クリエイティブディレクター
審査員	川口 清勝	様	アートディレクター
〃	十文字 美信	様	写真家
〃	副田 高行	様	アートディレクター
〃	田中 里沙	様	事業構想大学院大学学長/宣伝会議取締役
〃	原野 守弘	様	クリエイティブディレクター
〃	照井 晶博	様	コピーライター
〃	表 輝幸	様	東日本旅客鉄道株式会社(執行役員 事業創造本部 副本部長)

◆ 歴代のグランプリ受賞作品 ◆

- 1989年 サントリー株式会社、日産自動車株式会社、株式会社伊勢丹
1990年 特別区競馬組合、サントリー株式会社、株式会社丸井
1991年 特別区競馬組合、日本アルミニウム協会、東急ハンズ池袋店
1992年 ラフォーレ原宿、株式会社リクルート、株式会社エフエム東京
※1989年～1992年は各部門（駅ポスター部門・車内ポスター部門・サインボード部門）の最優秀賞
1993年 日本ペプシコーラ社『もっと、カロリーをとりたい方へ。』
1994年 東京ガス株式会社『ニッポン人には、風呂がある。』
1995年 ジレット ジャパン インコーポレイテッド『その人、パーカー。』
1996年 株式会社レナウン『J. CREW '96 SPRING&SUMMER』
1997年 本田技研工業株式会社『CIVIC Message』
1998年 株式会社ラフォーレ原宿『LAFORET <NUDE OR LAFORET>』
1999年 サントリー株式会社『のほほん茶 「世の中に、疲れたら。」』
2000年 シャープ株式会社『21世紀に、持ってゆくもの。』
2001年 株式会社宝島社『企業広告（ゴミ袋篇）』
2002年 日産自動車株式会社『new MARCH Debut 篇』
2003年 ビクターエンタテインメント株式会社『Drink! Smap!』
2004年 三井物産株式会社『8colors』
2005年 シャープ株式会社『AQUOS 家シリーズ』
2006年 森永乳業株式会社『Lipton 2005 summer』
2007年 ソフトバンクモバイル株式会社『PANTONE ケータイ』
2008年 株式会社日本放送出版協会『NHKテキスト「きょうの料理」放送50年キャンペーン』
2009年 株式会社ショウゲート『私がクマにキレた理由』
2010年 株式会社白夜書房『内田裕也 俺は最低な奴さ』
2011年 福井市『一乗谷 DISCOVERY PROJECT』
2012年 株式会社ビームス『ビームス35周年「恋をしましょう」クリスマスキャンペーン』
2013年 大塚製薬株式会社『とどけ、熱量。』
2014年 株式会社日本経済新聞社『日経電子版 やわらか経済NEWS』
2015年 公益財団法人ユニジャパン『第27回 東京国際映画祭』
2016年 グラクソ・スミスクライン株式会社『ワキの多汗症』
2017年 株式会社ポーラ『Pola Dots Train』
2018年 薩摩酒造株式会社『白波 この地球の日々たちへ。』
2019年 凸版印刷株式会社『IMAGINE 2020 Printed By TOPPAN 『2020年夏、42.195km。』』

2020年 アディダス ジャパン株式会社「速さは、ひとつじゃない。」

◆ 「交通広告グランプリ」の経緯 ◆

「交通広告グランプリ」の原点は、1956年（昭和31年）から開催された「秀作車内ポスター展」まで遡ります。同展は東京近郊の国鉄・私鉄・都電に掲出された車内ポスターの中から選ばれた優秀作品が一堂に会する、当時としては大規模な広告展示会でした。「国鉄広告展」、新幹線の車内や駅を対象とした「新幹線広告展」が相次いでスタート。それらを段階的に統合する形で、1989年（平成元年）に（株）ジェイアール東日本企画主催による「JR東日本ポスターグランプリ」が誕生しました。2006年（平成18年）にJR東日本の他、つくばエクスプレス、りんかい線、ゆりかもめ、JR貨物、しなの鉄道に掲出された作品も審査対象として、「交通広告グランプリ」に名称を変更しました。2010年（平成22年）にはデジタルメディア部門を新設し、30回目を向かえる2018年（平成30年）に拡大するデジタルメディアを車両デジタルメディア部門、駅デジタルメディア部門として全6部門としました。